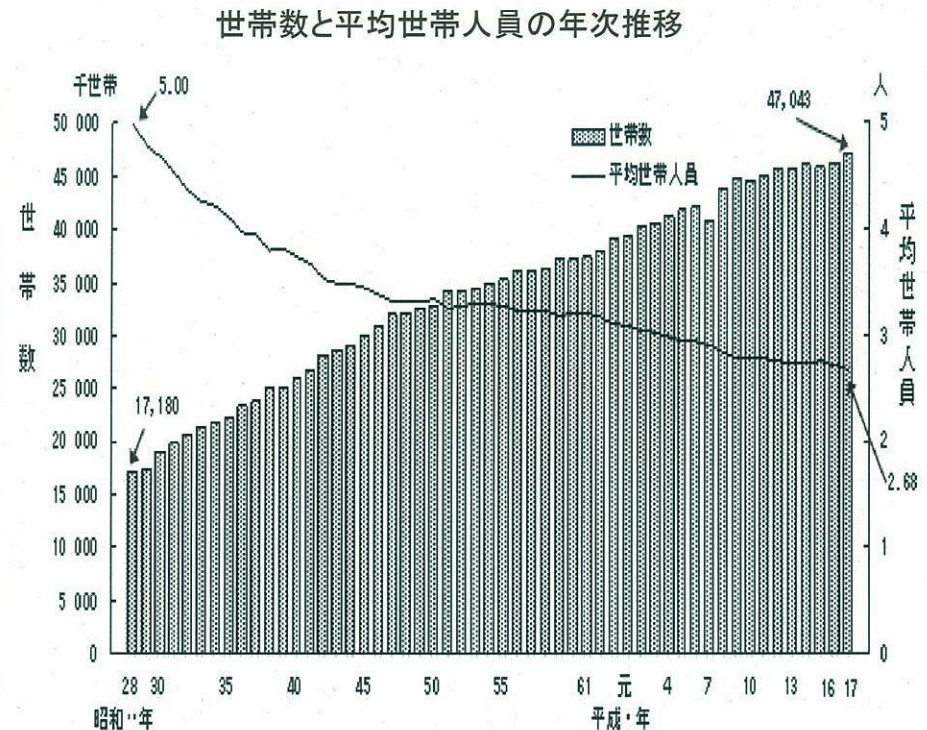
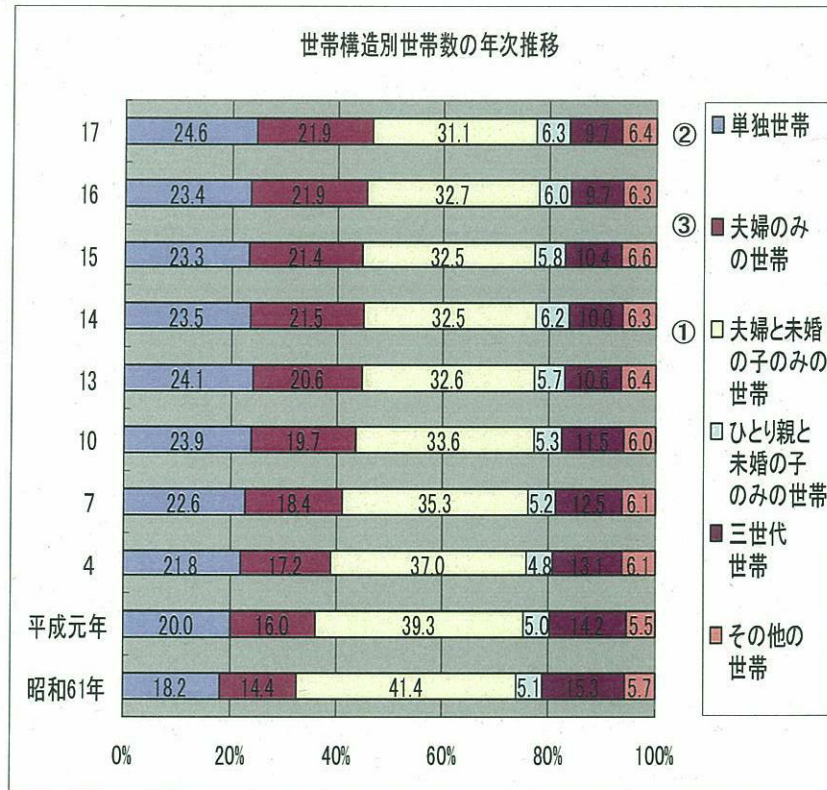


1. 世帯の状況

世帯構造及び世帯類型の状況

平成17年6月2日現在における我が国の世帯総数は4704万3千世帯。
 世帯構造別にみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が1460万9千世帯(全世帯の31.1%)で最も多く、次いで「単独世帯」1158万世帯(同24.6%)、「夫婦のみの世帯」1029万5千世帯(同21.9%)の順となっている。



注：平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

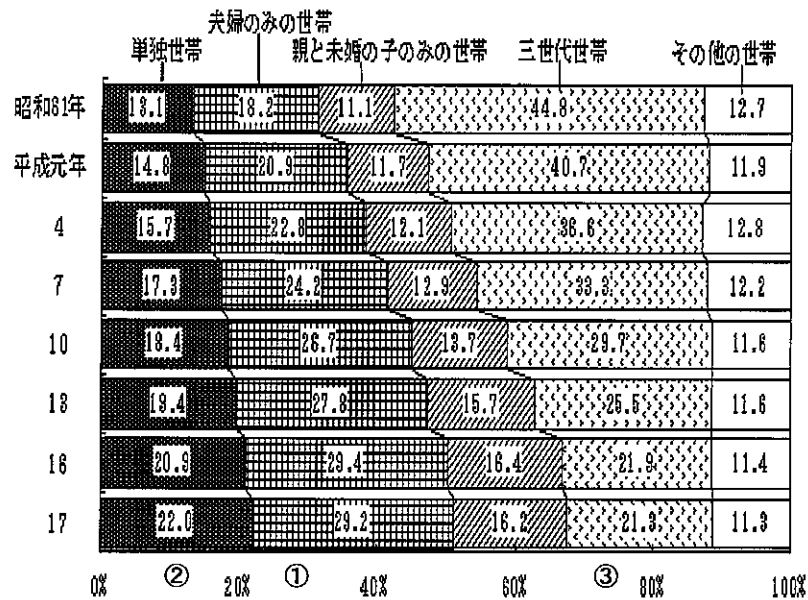
*平成17年度国民生活基礎調査より作成

厚生労働省「平成17年国民生活基礎調査」(2005)

65歳以上の者のいる世帯数の構成割合の年次推移

65歳以上の者のいる世帯は1853万2千世帯(全世帯の39.4%)。

世帯構造別では、「夫婦のみの世帯」が542万世帯(65歳以上の者のいる世帯の29.2%)で最も多く、次いで「単独世帯」406万9千世帯(同22.0%)、「三世帯世帯」394万7千世帯(同21.3%)の順となっている。



注：平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

厚生労働省「平成17年国民生活基礎調査」(2005)

世帯主が65歳以上または75歳以上の世帯(将来推計)

世帯主が65歳以上の世帯は、2000年の1114万世帯から2025年の1843万世帯まで、ほぼ730万世帯増加。単独世帯の割合が増え「その他の世帯」の割合が低下する。特に75歳以上の「単独世帯」は、2000年の139万世帯から2025年の422万世帯までほぼ3倍になる。

| 指標 | 2000年 (平成12) | 2025年 (平成37) | 指数 (2000年=100) |
|-------------|-----------------|-----------------|-------------------|
| 世帯主65歳以上の世帯 | 1,114万世帯 | 1,843万世帯 | 165 |
| うち単独世帯 | 303万世帯 | 680万世帯 | 224 |
| 世帯主75歳以上の世帯 | 394万世帯 | 1,039万世帯 | 264 |
| うち単独世帯 | 139万世帯 | 422万世帯 | 303 |

国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)の概要[2003(平成15)年10月推計]—2000(平成12)年～2025(平成37)年—」(2003)